

| | | | | |
|------------|-----|----------------|----------|----------|
| 教科 科目名 | 芸術 | 単位数(週あたりの授業時数) | | 2 単位 |
| | 書道Ⅱ | 履修学年(類型) | | 1 学年 普通科 |
| 教科書名(出版社名) | | | 書Ⅰ(光村図書) | |

●学習到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。

●学習計画

| 学期 | 月 | 単元名 | 学習内容 |
|----|------|-----------|--|
| 1 | 4・5月 | 漢字の書(草書) | ■草書の臨書と鑑賞 ・草書の成り立ち、用筆・運筆法 ○十七帖 |
| | 6月 | 漢字の書(隸書) | ■隸書の臨書と鑑賞 ・隸書の特徴、基本的な用筆・運筆法 ○乙瑛碑 ○曹全 |
| | 7月 | 漢字の書(篆書) | ■篆書の臨書と鑑賞 ・篆書の特徴、基本的な用筆・運筆法 ○石鼓文 ○泰山刻石 ■実用の書(硬筆検定①) |
| 2 | 9月 | 刻字 | ■行書の臨書と鑑賞 ・行書の用筆法や字形の取り方 |
| | 10月 | 漢字の書(創作) | ■創作作品の鑑賞と制作 ・画仙紙での臨書 ・画仙紙での創作→公募展出品 |
| | 11月 | | ・線質、紙面構成、墨量などに留意して制作 |
| | 12月 | 漢字の書(実用) | ■実用の書 ・硬筆検定② ・封筒、宛名の書き方 ○年賀状 |
| 3 | 1月 | 仮名の書 | ■仮名の書の臨書と鑑賞 ○高野切第一種 ○蓬莱切の散らし書き |
| | 2月 | 漢字仮名交じりの書 | ■漢字仮名交じりの書の学習 ・漢字と仮名の調和 ・古典をもとにした表現 ・字形、線質の工夫 ・文字の大きさ、全体構成、余白の生かし方 ・目的や意図に基づいた表現 ・言葉と書表現の関係 ○語句の選定 ○草稿の作成 ○表装 ○相互批評 |
| | 3月 | | |

●観点別評価

| 3観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|--|--|--|
| A | 書の表現の方法や形式、多様性などについて深く理解し、創造的に表現するための技能を身に付けている。 | 作品や書の伝統と文化の意味や価値を深く味わい捉え、意図に基づいて創造的に深く構想し、効果的な表現を工夫することができ | 主体的に粘り強く書の創造的な諸活動に取り組み、書を通して心豊かな生活や社会を積極的に創造していく態度がみられる。 |
| B | 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解し、創造的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 | 作品や書の伝統と文化の意味や価値を感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫することができる。 | 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度がみられる。 |
| C | 書の表現の方法や形式についての思考が足りず、創造的に表現するための技能の習得に努力を要する。 | 作品や書の伝統と文化の意味や価値の感受や、意図に基づいた創造的な構想、表現の工夫に努力を要する。 | 主体的な書の創造的な諸活動への取り組みがみられず、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく意欲が不足している。 |
| 評価方法 | 作品 学習プリント | | 授業の記録 授業への取り組み |
| 評価の重み | $\alpha=0.4$ | $\beta=0.4$ | $\gamma=0.2$ |